



## 囲碁は紳士だけど、将棋は・・・？

弁護士 永井 弘二  
nagai@oike-law.gr.jp

「ヒカルの碁」という人気マンガのおかげで、囲碁を始める子供たちが増えているといえます。以前は、将棋界の7大タイトル<sup>(\*)1</sup>を独占した羽生善治という天才<sup>(\*)2</sup>の出現で、将棋人気が盛り上がったのですが、最近は囲碁に押されているようです。私は、高校時代から将棋をやっており、囲碁は少しかじった程度ですので、気持ちは将棋を応援してまいります。ということで、今回は、勝手に囲碁と将棋を比べてみます。

まず、イメージから。囲碁は紳士が礼儀正しく楽しんでるのに対し、将棋は、縁側で腹巻きをして団扇を扇いで「てやんでいー」などと言っている風景が浮かびます。法曹界でも、裁判官は囲碁を嗜む方が多く、弁護士も紳士的な方は囲碁をやっている、というイメージが私にはあります<sup>(\*)3</sup>。将棋は、戦後しばらくまで、「真剣」と言って賭け事の対象とされてきたため、あながち勝手なイメージでもありません。ちなみに、そんな歴史が逆に反映したのか、将棋のプロは、タイトル戦では必ず羽織袴で臨み、通常棋戦でも最低限スーツを着ているのに対し、囲碁のプロは、一頃、普段着で対戦することが問題になったらしいです。昨年、囲碁のタイトル戦で、「終局」状態となったため、勝っている方が「駄目詰め」したところ、負けている方が相手の石を取った、という事件が発生しました<sup>(\*)4</sup>。これはマナー違反とも言え、新聞の将棋欄に、将棋のプロはそんなことはしない、という記事が出ました。私のイメージとは別に、プロの世界では、将棋界の方がマナーがいいのかもしれませんが<sup>(\*)5</sup>。

次に、ゲームの性質は「囲碁は広く、将棋は深い」と言われます。将棋は9×9の小さな盤の上で動きの違う駒が王様目指して競い合うので、必然「読み」が深くなります。他方、囲碁は、19×19という大きな盤ですので、特に序盤では「読み」よりも「感覚」が重視され、1カ所で多少有利になっても他の箇所配置によっては不利になってしまう、ということがあり得ます。そのためか将棋の方が体系化が進んでお

り<sup>(\*)6</sup>、将棋では現在のプロが史上最強と言えるのに対して、囲碁では、江戸時代の道策、秀策という人が史上最強だと言う人も多いです。また、「読みに強く感覚に弱い」コンピュータの特性から、将棋ソフトは現在アマチュアの3～4段程度<sup>(\*)7</sup>なのに対して、囲碁ソフトは初段程度だということです。

他方、「国際化」という面では、圧倒的に囲碁の勝ちで、中国、韓国でも盛んです<sup>(\*)8</sup>。どちらもルーツは中国にありますが、将棋は日本で全く違った物になったのに対し、囲碁はほとんど変わらなかったことに由来します。

とまあ、縷々比べてみましたが、そもそも違うものなので「だからどうした」とは思いません。最近、会う人会う人に「太った」と言われるので、将棋とかよりもスポーツをしなくちゃな、と思っただけの今日この頃です。

\*1 名人、竜王、王将、王位、棋聖、棋王、王座。いずれも新聞棋戦で、将棋界の収入は新聞社からの契約金が大部分です。数年前、羽生が1億円プレーヤーになったと話題になりましたが、プロ野球やタレントなどの年収と比べると、将棋界というのはまだまだ質素？

\*2 7冠独占の直後、畠田理恵と結婚しワイドショーでも取り上げられました。「寝ぐせ」は有名で、将棋を知らなくても羽生善治は知っているという人は多いはず。私の好きな棋士は谷川浩司です、ってどうでもいいですね。

\*3 将棋をされる方ゴメンナサイ。

\*4 囲碁は打つ場所がなくなった状態で互いに「終局」を確認し、その上で「目」「地」にならない「駄目」を詰めて、互いの「目数」を数えて勝敗を決めます。「駄目」詰めの際、石が囲まれることもありますが「終局」のため石は取れないのです。この事件では、勝っていた方は「終局」だと思って「駄目」を詰めたのに、負けていた方は「終局」の合意はなかったと主張したのです。プロのしかもタイトル戦での事態だけに驚きです。

\*5 囲碁をされる方ゴメンナサイ。

\*6 体系化が最も進んでいるのはチェスらしいです。羽生善治はチェスに凝っているようですが、将棋の体系化はここ数年で急速に進んだということです。

\*7 詳しく書けませんが、プロの段位とアマの段位は全く別物で、将棋だとアマ5段(県代表クラス)がプロ6級くらいです。

\*8 韓国プロのイ・チャンホというのがとても強いらしく、彼に勝った日本のプロは尊敬されるようです。